

令和7(2025)年度農作業安全対策研修会開催要領

1 目 的

近年、夏期の異常高温が続き、全国的に熱中症を発症する人が増加している。最新の農作業死亡事故(令和5年)において、「熱中症」による死亡者は37人と全体の約15%で、年々増加傾向にあり、本県でも令和6年に1人亡くなっている。

熱中症を予防するためには、管理者による適切な作業環境管理や作業管理、作業者自身による健康管理が重要である。また、令和7年6月には、労働者への熱中症対策を義務づける労働安全衛生規則が改正、施行され、熱中症の重篤化による死亡災害を防止する取組が強化された。

これらのことから、農作業安全指導者や農業生産法人等を対象に、熱中症の正しい知識と予防・対応策について研修を行い、農作業安全に係る知識の向上を図るものとする。

2 主 催

栃木県

3 共催

栃木県農業機械士会、栃木県農作業安全対策推進協議会、(一社)日本農業機械化協会

4 日 時

令和7(2025)年7月31日(木) 13:30~16:00

5 場 所

栃木県総合文化センター第1会議室

6 日程及び内容

13:00 開場

13:30 開会・挨拶

13:45 研修会「農作業中の事故防止と熱中症対策」

講師 (一財)日本農村医学研究所 主任研究員 柳澤 和也氏

15:15 話題提供

16:00 閉会

7 参集範囲

栃木県農業機会士会、農業生産法人、栃木県農業士会、栃木県女性農業士会、栃木県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会栃木県本部、全国共済農業協同組合連合会栃木県本部、栃木県農業共済組合、栃木県農業機械商業協同組合、市町、栃木県(農政部各課、各農業振興事務所経営普及部、警察本部生活安全部)

